

市民参加について…

市民参加活動を推進するためには、市民参加推進会議のみならず、より多くの市民に、積極的かつ具体的に呼びかけて効果を上げる方策について、色々な形で、次のような計画を実施しながら、いくらかでも市民参加意識を高める。

1. 傍聴率の向上：

市民参加推進会議に限らず、30以上もあると言われている市の色々な委員会・審議会などへの市民の傍聴率を高める方策はないだろうか。これこそが市民参加であり、傍聴者の声を、何らかの形で、収集し、それぞれの委員会などに反映できれば、素晴らしいことと思われる。その一つに、ポイント制などや他の方法が考えられないだろうか。

2. 出前活動：

市内で行われる色々な市民の集会にできるだけ多くの委員や市の担当者が出席をして、市民がどんな意見や考えを持っているのかを収集すると同時に、市民参加のPRを行う。そうした中から、市民の声を市民参加推進会議の議論に反映させる。

3. ワークショップ（市職員向け）；

市の主な部署からの職員と、市民参加推進会議が、市民参加についての勉強会を行う。

時には、先進的に市民参加を推進している他市との交流も考えられよう。

4. 懇話会（市議会議員対象）；

市議会議員(有志?)と市民推進会議委員が一緒になって、市政に対する市民参加の意義などについて、それぞれ忌憚のない話し合の場を作る。

5. フォーラム（市民向け）；

複数の住民センターなどを利用して、市民参加推進会議のメンバーの報告などの後、公開討論会の様な形で、市民の市政に対する参加意識を高める。

時には、外部講師の講話などを含めることも考えられる。

6. シンポジウム（市民向け講演会）；

上記1~5の集大成として、市民参加推進会議が主催して、文化ホールなどで、市民参加シンポジウムを開催する。市長にも参加を依頼し、ときには外部講師を含めることも視野に入れて、市民全体に市民参加をアピールする。